

# Polje

「ポリエ」とは、石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことです。  
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには建っています。

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤  
TEL・FAX:08396-2-2622  
E-mail : akiyosiecomuseum@yahoo.co.jp  
HP : <http://www.c-able.ne.jp/~mitou-14/>

## 秋吉台 花よりワラビ 目に付くと ついつい

淡い新緑の草原が、日を追うごとに濃い緑へと色を増していくこの頃は、景色の変化がいちじりしい季節です。早春に行われた山焼きで枯れ草の焼け残りが無いところでは、まんべんなく萌黄一色となり、たいへん綺麗です。石灰岩の多く露出したところは「これこそカルスト台地」と言わんばかりの絶景です。遠くには散策している人たちが見えます。キジムシロ、ツチグリ、オカオグルマなどが見頃となっているでしょう。また今年にはワラビが豊作とのこと。「花より団子」ならぬ「花よりワラビ」かもしれません。



## 季節の花 花はよく見かけるのに名前が思い出せない・・・

**ハルザキヤマガラシ** 空き地や牧草地などでよく見られるアブラナ科の一年草又は越年草。名前を一度は覚えても一年後にはしまい、なかなか思い出せない花です。肥沃な場所では大群生していますが、時として1本も生えてこないこともあるようです。

**シロヤマブキ** 山地のやや湿ったところに自生するバラ科の落葉低木。公園や家の庭の植栽として見かけるのですが、野生のものは絶滅危惧種となっています。エコフィールドでは、以前からあったのですが、今年初めて咲いているのに気が付きました。これが植栽か野生かという、どうでしょう。川の擁壁の目地から生えているのです。

**リュウキュウコザクラ** 秋吉台では限られた所で見かけるサクラソウ科の一年草又は越年草。今まで確認した場所は水辺や土手、林縁であったりと様々です。小さくてかわいい花なので、目をこらさないと見つからないかもしれません。見つかったとしても上手く写真が撮れません。



## 「化石採集体験」

## 大正洞桜まつりと同時開催

前日までの春の嵐とは打って変わり好天の4月5日、大正洞桜まつりと同時開催で「化石採集体験」を行いました。満開の桜も散り始め、またそれも風情。続々と多くの方が参加。一時は順番待ちも。大きなハンマーで何度も叩いて石灰岩を割り、手ごろな破片を希塩酸で処理すると、フズリナや腕足類の化石が見えやすくなります。それをルーペで覗いて「おーっ」と感動のようす。記念に持ち帰れると聞いて大喜びも。これが化石に興味をもつきっかけになればと思います。



## 「スヌーピー岩と春の花の観察」のび始めた新芽に期待！

観察会「スヌーピー岩と春の花の観察」を行いました。みんなが集合したら早速出発。遠くの地獄台などの景色は、萌え始めた若草と白い石灰岩のコントラストがきれいです。伸びきったワラビの下にはヒメハギが咲いています。スヌーピー岩に到着。近くにはオキナグサがそろそろ翁になろうとしています。ムラサキは10cmほど新芽が伸びていました。他にもオカトラノオやシラヤマギクの新芽。サイヨウシャジンの新芽を見ては、葉の形状に違いがあるのが不思議。伸び始めた新芽の今後に期待です。



## そういえば・・・、スヌーピー岩との出会い

秋吉台の石灰岩に名前が付いているのはゴジラ岩や烏帽子岩が以前から知られていました。最近ではスヌーピー岩がグーグルマップに載っています。このスヌーピー岩は前から知られていて「犬岩」と言われていました。いつの頃から「スヌーピー岩」となったのかと、自分の写真整理ノートを見ると、2014年3月8日にスヌーピー岩と記入されていて、それ以前は犬岩となっていました。どうやらこの頃からスヌーピー岩と呼ばれるようになったのでしょうか。

(もっと古い記録、記憶がありましたら教えていただけませんか)



## 5月の行事

5月23日(土) 花の観察会「初夏の花」

初夏の秋吉台を散策してムラサキなどの初夏の花を観察しましょう。



5月3日(日)に予定していました「カエルの観察会」は、現地の環境変化のため

